

課題番号 : 26指002

研究課題名 : 糖尿病保健医療政策提言に向けた政策研究

主任研究者名 : 植木浩二郎

キーワード : 糖尿病、政策研究、二次データ解析、情報発信、政策提言

研究成果 :

- 糖尿病の予防・治療に関する既存の研究事業の情報収集としては、日本における糖尿病の有病率や罹患率、合併症の発生率などをまとめたリストを作成した。今回作成したリストは、今後さらに充実させた上でレビュー論文として英文雑誌への投稿を行うとともに、今後糖尿病情報センターの HP を更新する際にコンテンツとして使用する予定である。
- 既存データの二次解析としては、国際医療研究開発事業（疾病研究分野・若手育成型）「日米の大規模データを用いた糖尿病等生活習慣病の実態と治療内容の推移に関する研究」（分担研究者：杉山雄大上級研究員）と共同して国民健康・栄養調査のデータ利用を申請し、解析を行った。ナショナルデータベースを利用した糖尿病患者の治療実態や合併症の把握を行うにあたり、レセプトデータの使用方法を学ぶため、杉山雄大が国立保健医療科学院遠隔教育「レセプト・DPC データ分析法」の講義を受講、修了した。
- シミュレーションモデルを利用した糖尿病の有病率や合併症の罹患率等の将来予測に関しては、国立健康・栄養研究所国際産学連携センターの西信雄センター長の指導を受けて、糖尿病の予防と合併症進展予防（特に透析導入予防）に関するシミュレーションモデルを作成した。本研究は平成 27 年 7 月の国際システムダイナミクス会議（米国・マサチューセッツ州）で口頭発表を行った。今後英語論文を作成する予定である。
- 新規の観察研究・介入研究の必要性の検討に関しては、厚生労働科学研究事業「電子カルテ情報活用型他施設症例データベースを利用した糖尿病に関する大規模な臨床情報収集に関する基盤的研究」（主任研究者：梶尾裕糖尿病内分泌代謝科長）と共同して、代表性が高く効率よく糖尿病患者のデータ収集ができる研究デザインを検討した。結果、AMED 調整費を獲得し、32 施設からの情報収集体制を整えるに至った。
- 政策提言に関しては、杉山雄大が厚生労働省・NC 連絡会議に 2 回出席し（平成 27 年 5 月 12 日、6 月 10 日）、当センターの糖尿病チームの行う研究の進捗と将来像を説明した。
- 情報発信に関しては、がん対策情報センターのがん情報提供検討会に出席し、コンテンツの作成手順などについて学んだ。その内容を生かし、内外の医師・医療スタッフの協力を得て、糖尿病情報センターの HP について一般向けコンテンツを充実させ、平成 27 年 11 月に HP を改変した。

Subject No. : 26 指 002

Title : Policy Research Aiming at Making Policy Recommendations for Diabetes Care and Prevention

Researchers : Kohjiro Ueki

Key word : Diabetes, Policy Research, Secondary data analysis,

Abstract :

Our research group aimed at making policy recommendations for Diabetes Care and Prevention to advise the Ministry of Health, Labour and Welfare during 3 fiscal years. We classified our study into 5 sections as follows: 1) collecting information through literature review and interview, 2) secondary data analysis of big data, 3) future prediction using a simulation model, 4) planning new interventional or observational studies, and 5) information transmission about diabetes and diabetes policy.

The achievements of the first fiscal year are as follows:

(1) Collecting information through literature reviews and interviews

We performed a literature review about diabetes prevalence, diabetes incidence, and diabetes complications incidence in Japan. We are now preparing for submission to a scientific journal as a review article. We also plan to use this review when we revise the contents of the website of Diabetes and Metabolism Information Center.

(2) Secondary data analysis of big data

We applied for secondary use of National Health and Nutrition Survey in Japan to investigate various research questions about diabetes and lifestyle diseases. We presented a part of our analysis at the 74th Annual Meeting of Japanese Society of Public Health. Takehiro Sugiyama completed an e-learning course of “claim data and DPC data analysis” at National Institute of Public Health. We also performed another literature review about study using claim data.

(3) Future prediction using a simulation model

We made a simulation model about prevalence of diabetes and dialysis due to diabetic nephropathy using information from governmental statistics. We presented the result of this study at the International System Dynamics Conference in Massachusetts in July 2015, and we are now preparing for a manuscript submission to a scientific journal.

(4) Planning new interventional or observational studies

Collaborating with Dr. Hiroshi Kajio’s research team, we planned a new large-scale study about efficient data extraction about diabetes patients from electric medical records.

(5) Information transmission about diabetes and policies for diabetes care and prevention

We participated the meetings at the Ministry of Health, Labour and Welfare and presented ongoing and planned studies at Diabetes Research Center.

Researchers には、分担研究者を記載する。

国立国際医療研究センターにおける糖尿病保健医療政策研究の進め方

方針： 糖尿病の予防・治療の戦略を当センターが立案し、発信する。

具体的な方策

(各段階において学会、地域の診療医、特定保健指導実施者、患者、マーケティングや行動変容の専門家等と連携)

既存の研究・事業に関する情報収集 (国内外の介入研究、コホート研究、レセプト解析等の文献レビュー、特定健診・保健指導その他取り組みに関する見学・インタビュー、糖尿病の病態生理的現状に関する文献レビュー)

現時点での糖尿病予防・治療戦略の
構想、対策の立案

課題の洗い出し (データやエビデンス、
議論が不足している分野の確認)

新たなデータ解析 (国民健康・栄養調査・NDB等を用いた糖尿病
及び合併症の有病率・治療の状況・医療費等の推移について)

シミュレーションモデルを用いた将来予測
(糖尿病及び合併症の有病率や医療費等について)

新たな介入研究・観察研究の検討
(当センター主導、又は科研費研究公募の提言)

関係者で構成する協議会を開催し様々な視点から検討 (患者を含むことも検討、
政策、研究開発分野、セルフ・マネジメントに関わる各主体の責務等について協議)

研究成果、協議会の議論等をもとに糖尿病予防・治療戦略の構想、対策の修正

厚生労働省に提言、当センターから一般に情報発信

平成27年度の成果

- 文献レビュー
 - 日本における糖尿病有病率や罹患率、合併症の発生率などまとめたリストの作成
 - レセプトデータを用いた研究のリストの作成
- 既存データの二次解析
 - 国民健康・栄養調査の二次利用申請、解析→日本公衆衛生学会総会で発表
 - レセプト・DPCデータ分析法について国立保健医療科学院の遠隔教育を1名の研究協力者が受講
- シミュレーションモデルの作成
 - 糖尿病の予防と合併症進展予防(特に透析導入予防)についてのモデルを作成国際システムダイナミクス学会にて発表、論文投稿予定
- 政策提言
 - 厚生労働省・NC連絡会議に出席し情報交換
- 情報発信
 - 情報発信の方法等について他の組織と情報共有
 - 国立がん研究センターがん対策情報センターの高山智子部長、東尚弘部長と面会、がん情報提供検討会に出席
 - 糖尿病情報提供検討会(第1回)を3月に開催、今後定期的に開催予定
 - 糖尿病情報センターHPを大幅に刷新(平成27年11月)